

# 平成21年度後期高齢者医療制度の 保険料の軽減について

①世帯の所得水準によって「均等割額（47,272円）」が、次のとおり軽減されます。

- ・ 33万円＋（35万円×世帯の被保険者数）を超えない世帯 → 2割軽減
- ・ 33万円＋（24.5万円×世帯主を除く被保険者数）を超えない世帯 → 5割軽減
- ・ 33万円を超えない世帯 → 8.5割軽減  
(平成20年度の軽減率が継続されました)
- ・ 33万円を超えない世帯のうち、被保険者全員が  
年金収入80万円以下で他の所得がない世帯 → 9割軽減

※また、会社などで加入していた健康保険の扶養家族であった方は、平成21年度については均等割額が9割軽減されます。

②所得割額を負担する人のうち、賦課のもととなる所得が58万円以下の人は、所得割額が5割軽減されます。

**後期高齢者医療制度の保険料が年金天引きから口座振替に変更できます**

現在、後期高齢者医療制度の保険料の納め方が「年金天引き」で今までに保険料を滞納していない方については、申し出により「口座振替」に変更できます。申し出は随時受け付けます。7月31日金までにお申し出があれば、10月分から口座振替が可能です。

問合せ先  
市民課保険年金係  
☎ 0837-5231

## まちかどホットライン

5/19

### 自衛官募集相談員委嘱状交付式

ソマリア沖の海賊や、もっとも身近なところでは、北朝鮮などの脅威のため、国内外から自衛隊への期待は大きくなっており、日本の安全保障だけでなく、日本国内各地で起きている異常気象や地震等による災害時の対応には無くてはならない存在になっています。

このたび自衛隊と地域の若者との橋渡しをする自衛官募集相談員7人（2人欠席）への委嘱状交付式が、村田市長、自衛隊山口地方協力本部長が出席されるなか開催されました。去年は県内から150人が入隊されました。



### 防災パトロールを実施

5/27



梅雨入りを前に、災害に対する地域の特性と実態を把握し、被害の未然防止対策及び応急措置の適切な実施を図るため、防災パトロールを実施しました。

当日は、県土木事務所、警察署、消防団、消防本部、市関係各課等防災機関が集まり、市内の急傾斜地や危険ため池を巡回し、災害発生時の対策について再確認しました。

## 国際ソロプチミスト美祢より 美祢市立病院小児科にソファベンチ等を寄贈

5/27



美祢市立病院で国際ソロプチミスト美祢から寄贈されたソファベンチ・フロアマットの贈呈式が行われました。

当団体は「地域社会と世界中で女性と女兒の生活を向上させる」ための、様々な奉仕活動を行っておられ、その活動の一環として、診察の待ち時間に安心して子どもが遊べるソファベンチ・フロアマットを寄贈していただきました。

5/29

## 別府小学校不審者侵入避難訓練

何時、何処で、何が起こるか分からない現実を踏まえ、不測の事態に対応できるように、地域との連携強化を図るために、美祢警察署、防犯パトロール隊、少年安全サポーターと隣接する別府保育園と別府小学校の合同で不審者に対する避難訓練が行われました。

訓練は、不審者に扮した警察の方が、小学校や保育園の敷地に不法侵入し、先生の誘導で校長室に案内され、そこであばれだし、連絡で参集した防犯パトロール隊の人と先生方が刺すまで取り押さえ警察に引き渡すまでの訓練が行われました。



## 第12回八代螢祭り

6/6



八代グラウンドで行われる予定でしたが、あいにくの雨のため、八代ぬくもりの里交流センターの屋内で行われました。

廊下に地元の特産品販売のお店や模擬店がならび、麦わら細工のコーナーではホタル籠づくりの指導もありました。教室では、のど自慢大会などもあり盛り上がりました。暗くなり始めた8時頃から、雨も小雨にかわり、傘をさしながらをホタル散策にこられている方もおられ、ホタルを見つけて楽しんでいました。

6/7

## 第22回ます・うなぎつかみ取り

秋吉台にある、秋吉台家族旅行村で、第22回ますとうなぎのつかみ取りが行われました。開会式では、雲が立ちこめ、肌寒かった天候も、つかみ取りの準備のためにジャブジャブ池にあゆ・うなぎを放流している間に、太陽が顔をのぞかせ、初夏の陽気となり、一層会場を盛り上げていました。

開始の笛の合図とともに池に入り、幼児は保護者の声援を受け水しぶきを上げ、ずぶぬれになりながら一生懸命取っていました。終了後は、バーベキュー広場で自分達で取った魚の味を堪能していました。



6/7

## 第11回「まちの子はみんなわが子」 草原遊びと森のピザ屋さん

山口県秋吉台少年自然の家において美東町地域活動（母親クラブ）連絡協議会主催で、市内の親子、117人が集まりました。

大型紙芝居やじゃんけんゲームをして楽しんだあと、野外の炊事場でピザを生地からつくり、自分でトッピングしたピザを、ドラム缶で作られた窯でお父さん方が焼き、焼き上がったピザを親子で美味しくおぼっていました。参加した子どもたちは口々に「来年も来ようね。」と言っていました。

